

# 令和4年度 長崎市環境調査報告書：昆虫類

長崎市自然環境調査員 田中 清

はじめに

2005年の町村合併によって、西彼杵郡の外海・琴海地区が長崎市に編入されました。その後、西彼半島全体の甲虫についての調査結果（深川ほか2016）が発表されました。しかし、この地域では昆虫全般の調査が行われていません。

そこで、今回は長崎市に編入された地域の中から、神浦一帯（神浦11町）を取り上げました。この地は高度差500mほどの中に、照葉樹林、植林地、草原、河川、溜池、湿地、水田、畑、ダム湖、河川公園、海浜などの多様な環境が存在しており、興味深い地域です。

以下に、今年度の調査結果の要点をお知らせします。

## 1 調査期間及び方法

### (1) 期間

2022年1月～12月の1年（毎月2～3回の調査）です。

### (2) 方法

下記の7つを実施しました。なお、灯火採集は7月～9月に行いました。

- ①見つけ取り    ②スウィーピング法    ③叩き網法    ④エンジンブローア（吸引採集）  
⑤石起こし    ⑥灯火採集    ⑦PT法（フィットホールトラップ）

## 2 調査結果

確認種数、特定種、特筆すべき種、外来種、偶産種にしぼって説明し示します。

### (1) 確認種数

先に示した論文には鞘翅目の昆虫1445種があげられており、そのうち895種が神浦で記録されていました。そこに、今回の調査で新たにカッコウムシなど3種を追加できました。

その他のグループについても、確認した概要を分類群別にまとめると下記のようにになりました。

蜻蛉目：31種	竹節虫目：4種	蠃螂目：5種	ゴキブリ目：5種
直翅目：48種	半翅目：125種	脈翅目：4種	膜翅目：56種
双翅目：48種	鱗翅目：120種	その他：10種	

### (2) 特定種

長崎市および長崎県、環境省のレッドデータリストに記載されている種です。ベニトトンボなど蜻蛉目7種、ハルゼミなど半翅目4種、ヤマトタマムシなど鞘翅目7種、ダイミョウセセリなど鱗翅目5種の合計23種を確認しました（図1～12）。

### (3) 特筆すべき種

ミギワカメムシ科の未記載種（仮称メダマミギワカメムシ）が確認されました。現在、長崎西高等学校生物部と安永智秀博士により研究が進められており、近く新種として発表される予定です。



図1 キイトトンボ



図2 ベニイトトンボ



図3 タカネトンボ

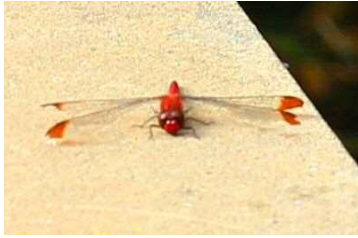


図4 コシノメトンボ



図5 オオアメンボ



図6 ミズスマシ



図7 コカブトムシ



図8 タマムシ



図9 ダイミョウセセリ



図10 スミナガシ



図11 ミドリヒョウモン



図12 メスグロヒョウモン

(4) 外来種

人間の活動に伴って外国から侵入し、長崎でも見られるようになった種です。ヨツモンカメノコハムシ、ラミーカミキリ、トガリアメンボなど5種を確認しました(図13~15)。

(5) 南方系の種

国内では、沖縄から鹿児島(先島諸島や南西諸島などに)に分布していましたが、近年分布地を拡大(北上)して長崎でも見られるようになった種です。ハネビロトンボ、ツマアカクモバチ、ヤクシマルリシジミ、クロマダラソテツシジミなど5種を確認しました(図16~18)。

(6) 遇産種

分布地が南方にありながら、偏西風や台風などによって偶然運ばれてきたと考えられる種として、リュウキュウムラサキ、カバマダラ、など5種を確認しました(図19~21)。



図 13 ラミーカミキリ



図 14 トガリアメンボ



図 15 ヨツモンカメノコハムシ



図 16 ハネビロトンボ



図 17 ツマアカクモバチ



図 18 クロマダラソテツジミ



図 19 ルリウラナミシジミ



図 20 リョウキュウムラサキ



図 21 カバマダラ

### 3 考察

今回の調査によって、神浦一帯には、文献に記載されている種（鞘翅目）を含めると 1344 種の昆虫が生息していることがわかりました。

しかし、一方、調査地内の最上部に位置している県民の森では、一般車が進入できない地域が多く、17:00 には閉門となるため、十分な調査ができていません。そのため、改めてこの地域の調査を実施したいと考えています。

また、神浦一帯は、他の地域でも問題になっているイノシシが多く、林内や林縁で日中に遭遇することがあります。林床や山道が掘り返されている地域が散見され、徘徊性の昆虫や下草の減少や農作物への被害も懸念されます。

### 謝辞

本調査に同行し、採集器具を利用させていただき長崎西高等学校の長嶋哲也氏、カメムシ類の採集や同定にご協力いただいた安永智秀博士、そして、採集に協力いただいた山佐啓斗（佐賀大学農学部）氏、長崎西高等学校生物部のみなさんに心より感謝いたします。

### 参考文献

安永智秀（1999）長崎県に生息するメクラカメムシ類とハナカメムシ類（異翅目：メクラカメムシ科、ハナカメムシ科）長崎県生物学会誌（50）：16-25、長崎県生物学会。

深川元太郎・今坂正一・山元宣征・野田正美・阿比留巨人・松尾照男・田中清（2016）西彼半島の甲虫、

こがねむし(81):1-152, 長崎昆虫研究会.

田中清(2020)長崎市の異翅半翅類目録(1), こがねむし(85):43-52, 長崎昆虫研究会.